



「輝笑」でつないだ**伝統**のバトン ～ 令和8年度文化発表会 ～

先週金曜日(10/23)、「輝笑(きしょう) ～絆でつなぐ 伝統のバトン～」のテーマのもと、令和8年度文化発表会を開催しました。7月の実行委員会発足から、Y 実行委員長・O 副実行委員長を中心に、各学級の実行委員が協力しながら、複数回にわたる実行委員会を経て当日を迎えることができました。また、それと並行しながら、各学年、各教科、個々人でも発表会に向けて、着々と準備を積み重ねてきました。

「ステージ発表」では、3年生は修学旅行、2年生は職場体験学習、1年生は校外学習で学んできたことを発表しました。プレゼンテーションにまとめたり、劇にしたり、はたまたクイズや替え歌にして発表するなど、限られた時間内で観る人すべてに学習成果を伝えるための「工夫」と「努力」が感じ取れました。

また、Mさん(3年)は、自身の学びを「意見発表」として、Tさん(2年)は、自身の研究を「理科研究発表」として堂々と発表してくれました。二人とも来月開催される「伊万里市話し方大会」、「佐賀県理科研究発表会」でそれぞれ発表予定なので、思う存分これまでの学びを多くの人に広めてきてほしいと期待しています。

ステージ発表の最後は「合唱コンクール」でした。各学級が金賞を目指し、音楽の授業以外にも多くの時間を割いて練習に取り組んできました。本番当日までには、何度も意見がぶつかったり、気持ちがひとつにまとまらなかったりしながらも、その一つ一つに折り合いを付けながら、今表現できるベストを出してくれたと思います。特に、3年女子が少ない人数で男性パートに負けまいと皆で頑張る姿にとても心を揺さぶられました。卒業式での歌が今からとても楽しみです。

また、全校合唱は今年も圧巻でした。実際の生徒数以上の声が出ていたのではないかと錯覚するほどの声量と美しく力強いハーモニーが心に響き、聴く人すべてに感動を与えました。



※ HP 用加工しています。

全校合唱

※ 裏面へつづく

「展示発表」では、授業や夏休み中に取り組んだ様々な作品が目を引きしていました。その中には、中学生の「今」しか書け(描け)ないもの・作れないものも多く、子どもたちが何気なく取り組みながらも確実に学びを深めながら成長し続けている足跡を見ることができました。

子どもたち一人一人の「輝く笑顔」と仲間との「絆」が、山代中の伝統というバトンを確かにつないでくれた文化発表会でした。

様々な経験と学びを通して、子どもたちは着実に成長しています。しかし、その成長を自分自身で実感できることは多くありません。だからこそ、私たち大人には、その頑張りや成長を認め、言葉にして伝える役目があるのではないのでしょうか。

今後とも山代中の子どもたちが、仲間と共に心豊かでたくましく成長していけますよう、本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

校長室より 仲間と創り上げる価値

文化発表会が終わりました。

当日の発表や合唱は本当に素晴らしく、多くの皆さんの頑張りを見ることができました。また、その姿をととても誇らしく感じました。

しかし、文化発表会までの道のりは決して順調なことばかりではなかったと思います。

意見がまとまらなかったこともあったでしょう。なかなか役割を決めることができなかったこともあったでしょう。正直、「誰かがやってくれるだろう」と思った人もいたかもしれません。

でもそれは、一人一人が違う考えや意見をもっているから当然のことです。大切なのは、その違いから目を背けるのではなく、仲間と共に解決しようとすることです。その過程の中で人は成長します。

仲間と一つのことを創り上げることは簡単ではありません。しかし、一人では見ることのできない景色を、仲間となら見ることができます。

今年の文化発表会のテーマは「**輝笑 ～絆でつなぐ 伝統のバトン～**」でした。

「**伝統**」とは、ただ受け継ぐものではありません。その時々仲間が知恵を出し合い、協力し、新しい価値を加えることで創られていくものです。

今回の文化発表会で皆さんが経験した喜びや悩み、成功や失敗のすべてが、山代中の新しい伝統につながっていくはずです。

文化発表会を通して、一人ではなく**仲間と創り上げることの価値**を、少しでも感じてくれたらうれしく思います。

By 中3の時、実行委員長を務め、合唱で指揮をしたことを今も忘れない57歳より(^^♪